

Case 18-2011

A 35-Year-Old HIV-Positive Woman with Headache and Altered Mental Status

(N Engl J Med 2011;364:2343-52.)

Problem List

#1 反復する頭痛（2 年前～）

- 激しい日常的な頭痛、全身倦怠感、羞明、嘔吐、歩行不安定（前回入院時）

#2 意識障害

- 事故の瞬間を記憶していない
- 奇妙な行動
- 見当識障害

#3 錐体路障害

- 腱反射亢進
- 病的反射陽性

#4 HIV 感染

- 家族歴

#5 髄液細胞数増加（リンパ球優位）

#6 髄液タンパク上昇

#7 髄液 IgG 上昇（12 ヶ月前、5 ヶ月前）

#8 髄液電気泳動でバンドを認める（12 ヶ月前、5 ヶ月前）

#9 FLAIR 画像で皮質下から側脳室周囲の深部白質におよぶ高信号を認め、2 年間で進行している

- 前回入院時、T1 強調画像（造影）で非常に強い軟膜の増強効果を認め、T2 強調画像と FLAIR 画像で高信号が皮質下、両側大脳半球の深部白質、大脳基底核、橋背側を含む脳全体に多巣性に認められた。
- 今回入院時にも、T2 強調画像での信号異常は概ね残っていた。軟膜と実質の増強効果は認めなかったが、白質の信号異常が特に脳幹で進行していた。
- 脳室と脳溝の狭小化も見られる。

★ 鑑別診断を挙げてください